

金沢に 2020 年 6 月 21 日オープンする現代アート美術館「KAMU kanazawa」 こけら落しはレアンドロ・エルリッヒ、ステファニー・クエール、桑田卓郎らによる展示

2020.06.21
open

KAMU
KANAZAWA

New
Art
Museum



@kanazawa_japan

© Takuro Kuwata

setchu 株式会社（本社：石川県野々市市、代表：林田堅太郎）が設立した私設現代アート美術館「KAMU kanazawa（カム カナザワ）」が、6月21日（日）石川県金沢市広坂に開館します。こけら落しの展示は「The power of things」と題し、ステファニー・クエール、桑田卓郎、レアンドロ・エルリッヒらの展示を行います。

構想から8ヶ月、新型コロナを乗り越え32歳がスタートさせる現代アート美術館



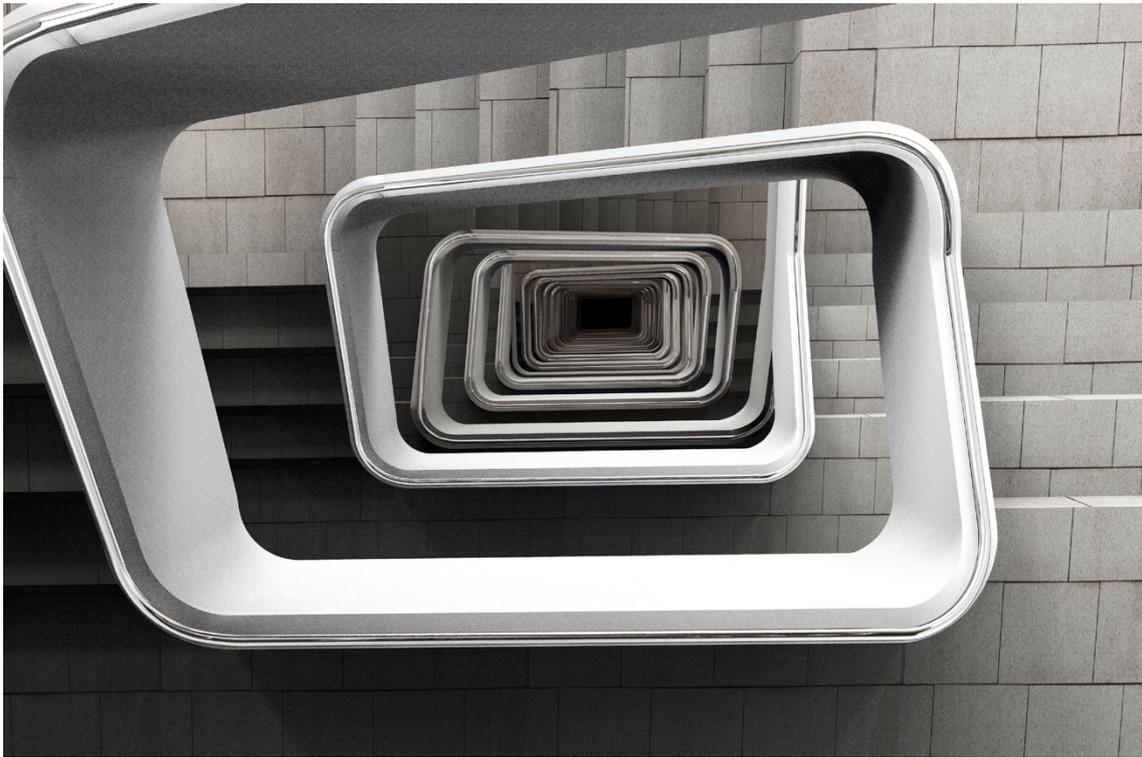
Watching Fox © Stephanie Quayle

2019年10月にスタートした、金沢に私設の現代アート美術館を設立するプロジェクトは、新型コロナウイルスの影響もあり開館が延期となっていましたが、「KAMU kanazawa」として2020年6月21日にオープンします。初年度展示は「The power of things」と題し、本美術館のコレクションの中核をなす立体とインスタレーションのジャンルから、レアンドロ・エルリッヒ、桑田卓郎、ステファニー・クエールをピックアップします。KAMU kanazawaのコレクションを中心に、3人の作家が本展示のために制作した新作を含め、日本未公開作品を多数展示します。社会のあり方が変わりオンラインへのシフトは確実に加速している状況ですが、フィジカルに体験、体感し心揺さぶる“物”の力を感じていただきたい。



青化粧金彩梅華皮志野碗 Blue-slipped gold Kairagi Shino bowl ©Takuro Kuwata

レアンドロ・エルリッヒの作品は、新作インスタレーションの公開を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で一時制作がストップしていたため7月までは新作の資料展示や関連のある作品を展示します。現在、工場では作品制作が進められており、7月中旬には美術館内での公開制作を行う可能性もありますので、2度3度と来場いただいても変化を楽しめる展示となるでしょう。作品完成後は本美術館のパーマネントコレクションとして常設展示され、「金沢21世紀美術館」のスイミングプールと併せてエルリッヒの2つの大型インスタレーションが楽しめる世界でも数少ない都市となる金沢のアートシーンを盛り上げていければと考えています。



INFINITE STAIRCASE (2020) ©Leandro Erlich

KAMU kanazawa

金沢 21 世紀美術館から徒歩 3 分、金沢市の中心部に、setchu 株式会社が運営を行う私設の現代アート美術館「KAMU kanazawa (カム カナザワ)」が 2020 年 6 月 21 日に開館します。現代アートによる日本の文化資源の向上のための作品収集、同時代的に生まれるアートの発信を行い、さらには“拠点となる金沢市”が現代アートの街として発展していくことに貢献することを目的に活動していきます。

館長 | 林田堅太郎

1987 年生まれ。中学まで福岡県で過ごし、高校で単身上海へ、未定でも前進する勇気と力を学び帰国。金沢でデザインを学び、現在まで東京を拠点に活動をしている。製品デザイナー、IT コンサルタントのバックグラウンドを生かし、プロデューサー、プロジェクトマネジメントなどの立場から、デジタル、アナログテクノロジーや、文化芸術、マーケティングなどさまざまな要素を組み合わせた施策を生み出してきた。アートコレクターでもあり、2020 年春、金沢 21 世紀美術館から徒歩 3 分の立地に、現代アート美術館を開館する。

KAMU|PRESS RELEASE

KAMU kanazawa <https://ka-mu.com/>

オープン：2019年6月21日

入館料：800円、小学生以下 無料

閉館日：月曜日

住所：石川県金沢市広坂 1-1-52 KAMU kanazawa

本件に関するお問い合わせ先

KAMU kanazawa

info@ka-mu.com

Instagram：https://www.instagram.com/kamu_kanazawa/